

解説：

禁煙治療のアプリケーションが2020年から保険適応された。身体的な依存は禁煙補助剤で対処するが、禁煙アプリは依存症の心理的依存に対して有効である。

禁煙アプリでは患者の呼気一酸化炭素濃度をCOチェッカーで測定する。CO濃度は禁煙の客観的な裏付けとなる。

健康保険で行う禁煙治療の手順や方法は「禁煙治療のための標準手順書」に基づいてうことが求められている。

平成18年(2016年)から禁煙治療に健康保険が適応されるようになった。施設基準を満たした保険医療機関で患者基準を満たした患者には計5回のニコチン依存症管理料が算定できる。2020年度からは禁煙治療のオンライン診療が開始されている。初回と最終回は対面診療で、間3回のオンライン診療が認められている。

禁煙カウンセリングは禁煙実行に向けての問題解決カウンセリングと治療の一環としてのソーシャルサポートからなり、禁煙補助剤とともに禁煙率を確実に上げることが証明されている。

解答：b

尚、この問題は日本医師会生涯教育講座コンテンツ「禁煙支援・治療(CC・82)」を参考に作成しました。